

丹波篠山市教育長 様

丹波篠山市立篠山東中学校 学校長 尾松 直樹

学校運営協議会について、次のとおり報告いたします。

第2回 篠山東中学校運営協議会実施報告書

1 学校運営協議会の開催について

- (1) 開催日時 令和7年7月8日(火) 15時00分～『熟議』
(2) 開催場所 丹波篠山市立篠山東中学校 会議室

2 出席した学校運営協議会委員の氏名・所属等及び出席状況

氏 名	所属等	出欠
山田 俊朗	雲部地区自治会	○
植村 寿次	篠山東中学校PTA 副会長	○
中西 幸治	日置地区自治会	○
藤井 博文	大芋地区自治会	○
谷口 博文	村雲地区自治会	× (仕事)
稲井 光一	後川地区自治会	× (仕事)
青木 恵由	福住地区自治会	○
栗野あさ子	主任児童委員	○
向井 祥隆	老人クラブ	○
池本 道子	学識経験者	○
尾松 直樹	篠山東中学校 校長	○
五十川 聡	篠山東中学校 教頭	○
岩瀬 章太	篠山東中学校 主幹教諭	× (校務)
足立 浩	丹波篠山市教育研究所学校園経営指導主事(アドバイザー)	○

3 傍聴人数 (0) 名

4 議題及び会議の公開又は非公開の別(協議事項毎に公開及び非公開の別を記入すること) 主な協議事項及び主な意見内容(審議の概要)

『熟議』：テーマ「篠山東中の生徒たちに、どのように育ってほしいか。」 (全公開)

上記テーマのもと『熟議』を実施した。子どもたちの将来を見据え、めざす生徒像についてグループワークを行った。また、出てきた意見を集約し、めざす生徒像を実現するための方策(アイデア)についても話し合った。めざす生徒像では、「自分を大切にする」「豊かな将来を描く」「地域人として生きる」「顔の見える関係」「優しさ」「自立」「視野を広く持つ」など、様々なキーワードを基に活発に意見が出された。また、そのような生徒を育てるための方策として、「地域行事への参加」「与えられた仕事や役割を果たす機会を与える」「親(大人)が見本を示す」「故郷を好きになる」「草刈り機の使い方教わる」「学力の充実」など、それぞれの立場で意見が交わされた。

委員の皆さんが当事者意識を持ち、真剣に熟慮を重ね議論してくださったことに心から感謝したい。『熟議』の最後には、アドバイザーとしてご出席いただいた足立学校園経営指導主事から、ご自身の経験を踏まえ貴重なご助言をいただいた。是非、これからの学校経営に反映できるよう努めていく。

5 会議資料の名称

- ・第2回篠山東中学校運営協議会(レジュメ)
- ・第2回篠山東中学校運営協議会「熟議」進行表
- ・7月学校だより(N0.4)

6 今後の予定及び方向性

『熟議』を通して、家庭・学校・地域がそれぞれの役割を再認識できたことは大きな成果である。また、年度の早い時期にめざす生徒像を共有できたことで、当事者意識の醸成を図ることができた。今後は、『熟議』で出た様々な意見やアイデアをもとに、本校の抱える学校課題の解決に向けて尽力する所存である。そのためにも、まずは学校が地域の拠点となり、次の主催事業実施に向けて準備を始めたい。

7 次回開催予定

- (1) 開催日時 令和7年11月12日(水)
(2) 開催内容 学校運営協議会主催事業 講師：山口耕道 氏
(3) 開催場所 篠山東中学校(場所：未定)

※ 「出席状況」は、出席の場合には○、欠席の場合には×を記入願います。
欠席の場合、出欠欄に欠席事由を簡潔に記入ください。(仕事・別会合出席・その他)